

令和3年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 葛原 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語, 算数)

教科に関する調査(国語, 算数)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

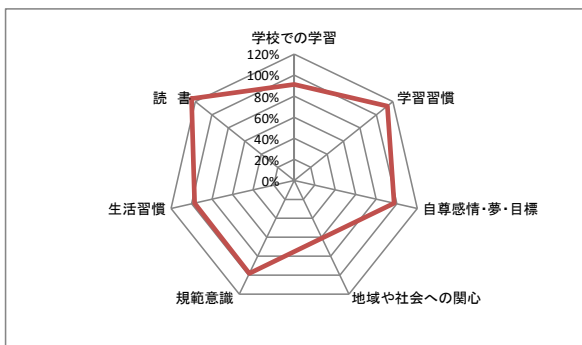
(1) 全国・本市の学力調査(国語, 算数)の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.8	63	11.0	69
全国	9.1	65	11.2	70

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	・全体的には全国平均正答率を下回っていた。 ・話す・聞く力を問う問題に課題があり、筋道を立てた話し合いや聞く態度などを習慣化する必要がある。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よってきた問題	資料を読み、自分なりに要約する問題の正答率は高かった。	
	努力が必要な問題	1つの資料の文について、別の資料の言葉を用いて詳しく書き直す問題に対して課題がある。	
算数	全体的な傾向や特徴など	・全体的には全国平均正答率と同程度であった。 ・数量や図形についての知識・理解に関する問題に課題がある。	全国平均正答率との比較 同程度である
	よってきた問題	三角形の面積や単位量あたりの大きさを求める問題、グラフ等の資料を読み取って答える問題の正答率は高かった。	
	努力が必要な問題	組み合わせた三角形の面積を求める問題やグラフなどから分かることをまとめる問題等に課題がある。	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・読書が好きな児童の割合は全国平均を上回った。 ・家で、自分で計画を立てて勉強をしている児童の割合は全国平均を上回った。 ・友達との話し合い活動で自分の考えを伝えたり、資料や表現を工夫して発表したり、課題解決のために進んで行動することなどについて肯定的な回答をした児童の割合は全国平均よりも低かった。授業で自分の考えをもって、しっかりと伝えられるように指導する必要がある。 ・将来の夢や目標をもっている児童の割合は全国平均より低かった。日頃から夢を抱くために、具体的な目標をもたせる機会を設定する必要がある。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- ・国語については、MIMやコグトレを行うことで、書く力や認知力を高める学習に取り組んでいる。
- ・算数については、朝自習や昼の補充学習で、基礎的・基本的な内容の定着を図るためのプリントをしている。
- ・感染症対策を講じながら1時間の学習の中で、学び合いを行い、伝え合う力を高めている。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 各学年の実態に応じて、宿題に自主学習を取り入れている。中学年以上は自主学習ノートを用意し、継続的に自主学習を行い、家庭学習の充実を進めている。また、「家庭学習チャレンジハンドブック」を活用し、自主学習の仕方を示す。今後、自主学習コンテストを行い、全校で取組の参考となる自主学習ノートを紹介していく予定である。